

- 2023年3月、都は、東京港の脱炭素化を戦略的に推進するため「東京港カーボンニュートラルポート(CNP)形成計画」を策定
 - 2025年現在、脱炭素化に向けグリーン電力の導入など様々な取組を実施し、ふ頭では脱炭素化が進展
 - 2030年のカーボンハーフ達成に向け、今後、民間の倉庫・冷蔵倉庫等が多く集積するふ頭背後地等における取組を加速していく必要
 - 2035年までに、東京港の主力ふ頭である大井ふ頭の再編整備を予定しており、再編を契機に東京港全体の脱炭素化に弾みをつけていく必要
- ➔ CNP形成計画を「東京港CNP形成計画 2.0<東京港港湾脱炭素化推進計画>」にアップデート
- ・脱炭素化に係る民間事業者の取組内容や実施時期・期間、事業の効果を計画に記載し、官民が共に取組の進捗状況を確認
 - ・カーボンニュートラルの実現に向け、短期・中期・長期の段階別に、CO2排出量削減に向けた数値目標を設定
 - ・東京港カーボンニュートラルポート形成計画2.0は、港湾法第50条の2に定める「港湾脱炭素化推進計画」に該当する計画として策定

1 温室効果ガスの削減目標・これまで、今後の取組



※2025年のCO2排出量は、2020年のCO2排出量を基に都が推計

2 目標達成に向けた主な取組

2030年に向けた取組 ～ 官民連携の取組を強化しカーボンハーフを実現 ～

ふ頭

- ▶ 最先端荷役機械の導入や荷役機械のEV化・FC化を推進
- ▶ 「Cyber Port」とのシステム連携による、コンテナ搬入処理の効率化
- ▶ AIを活用したターミナルの所要時間予測やオフピーク搬出入の実施
- ▶ 都関連の全ての港湾施設にグリーン電力を導入

ふ頭
背後地

- ▶ 民間事業者の倉庫・冷蔵倉庫等へグリーン電力を導入
- ▶ 倉庫・冷蔵倉庫等におけるAirソーラーなど太陽光発電設備の導入
- ▶ フォークリフト等のEV化・FC化

船舶
車両

- ▶ コンテナ搬出入予約制の導入拡大、モーダルシフトの促進による車両渋滞対策等



FC換装型RTG
(出典)住友重機械搬送システム株式会社ウェブサイト



EV・FCフォークリフト
(出典)TOYOTA L&F ウェブサイト



Airソーラー等の設置
(出典)積水化学工業株式会社(吹出中央)株式会社パワーエックス(吹出右)ウェブサイト

2035年に向けた取組 ～ 大井ふ頭の再編を契機とし脱炭素化の取組を強力に推進 ～

ふ頭

- ▶ 大井ふ頭での車両待機場所の配置転換等により交通アクセスを向上し車両渋滞を解消
- ▶ 最先端荷役機械の導入や荷役機械のEV化・FC化を拡大
- ▶ 荷役機械(RTG)を水素を燃料として運用

ふ頭
背後地

- ▶ 倉庫・冷蔵倉庫等におけるAirソーラーなど太陽光発電設備の導入を拡大
- ▶ EV・水素ステーション等の整備促進

船舶
車両

- ▶ 東京国際クルーズふ頭での陸上電力供給設備の導入



再編整備後の大井コンテナふ頭(イメージ)



脱炭素型荷役機械
(出典)Kalmar(左) Yusen Logistics(右)ウェブサイト

2050年に向けた取組 ～ 安定的な供給体制が確立した次世代エネルギーにより脱炭素化を実現 ～

ふ頭

- ▶ ふ頭の全ての施設・荷役機械のゼロエミッション化

ふ頭
背後地

- ▶ 民間事業者による事業所の建替え等を契機とした建物・設備等のゼロエミッション化

船舶
車両

- ▶ 船舶・車両の脱炭素化

